

連珠っておもしろい

九段 河村典彦

●第52回● お手軽海外旅行

10月11月と2ヶ月でチエコ、ポーランド、トルコ、スウェーデンに行ってしまつた。詳細は連珠世界やハングラムのブログ、フェイスブックに載せているのでそちらを参照してほしいのだが、今回言いたいのは、これで10ヶ国以上の国に行くことができたということである。

◇仕事で：イタリア、イギリス、フランス、トルコ
◇連珠で：スウェーデン、エストニア、ポーランド、チェコ

◇観光で：オーストリア
これにドイツを加えたら10ヶ国になるという訳である。その他、トランジットだけならラトビアとスイスもある。



どの国がどこにあるのかわからない人もいるだろうから、白地図を載せておく。どこにどの国があるのか調べてみてほしい。

今後仕事では、まだ大所のスペインやオランダ、ベルギーなどが残っており、そこそこ増えそう。また、ギリシャの上のごちゃごちゃした所は国が一杯あるので、国数を稼ごうとすればもってこいだ。しかし、へたにユーロ以外の国に行く通貨が増えて困る。実際、今はスウェーデンクローナ、ポンド、チェココルナ、ズ

ロチが混在して、特に硬貨は見分けがつかなくなっている。

さて、その中でランキングをしてみよう。

① 食べ物がおいしい
イタリア、フランス

② 観光に最適

イタリア、フランス、オーストリア、チェコ

③ 日本人観光客が多い
イタリア、フランス

オーストリア

行ったことはないが、最近ではスペイン（バルセロナ）が人気のようである。

フランスは全欧州で最も人気のあるパリを抱えているし、イタリアはローマ、ミラノなど行く所が多い。格で言えば横綱なので、その他の場所と比較するのには無理がある。しかし、エストニアやフリースクバルナなど、およそ日本人が行きそうもない所に行けるのは、連珠をやっているおかげである。

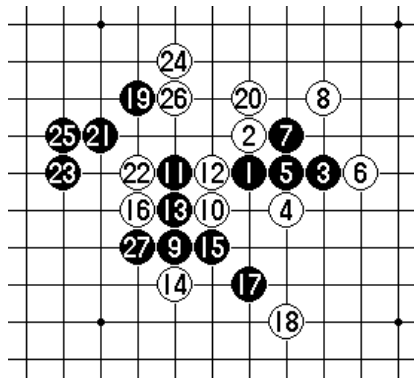
イギリスは今年オリンピックがあるので行く人がぐんと増えるだろうが、実は欧州では不便な国である。パスポートコントロールはあるし、「どこに行くんだ」「何しに来たんだ」と入国審査で聞かれるし、入国カードも書かなければいけない。（同じパスポートコントロールが必要なトルコはそんなことはない）

食事はおいしくないし、街はゴミだらけだ。それでもバッキンガム宮殿など見所は多いし、駅の表示が英語なのも助かる。（ただし一番英語がわからない）

やはり島国ということが影響しているのかもしれない。今はロンドンオリンピックよりも連珠ヨーロッパ選手権の方に行ってみたいと思っている。しかし、ロシアはビザが必要なのでもっと行きにくい。将来はビザもパスポートもなくなっているのだろうか？

さて、ドイツの隣の国、フランスの次に)近い外国でもあるチェコに行った時の棋譜をご紹介します。連珠世界にはニクル戦を載せているが、それ以外の譜から。チェコではかなり負けてしまったのだが、若手の力も強い。タミオラ君は世界戦では五目プレイヤーとして来ていたが、連珠ももちろん強いポーランドの選手である。5回戦であたった。

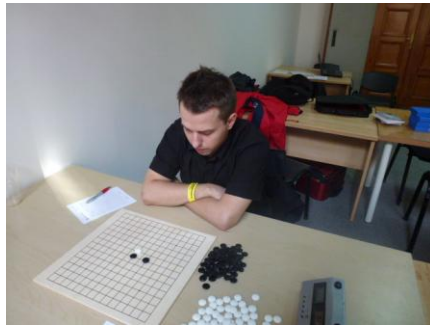
白：タミオラ



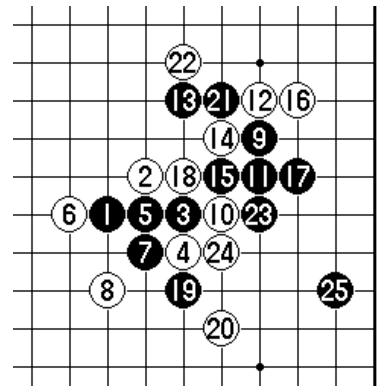
ソーンソロフルールで金星を打ったなら白を取られた。白8までの手は黒9で勝ち

だと聞いていたが、いざ実際に勝ちを探すと見つからない。仕方なく黒11から15と組んでみたものの、白16がびったりで勝ちがない。以下無理して勝ちに行ったら、白28から四追いを喫ってしまった。黒11では15と打つ所で、以下最強防の時の黒勝ちを連珠世界の詰連珠に「プラハ」シリーズとして出題しておいた。

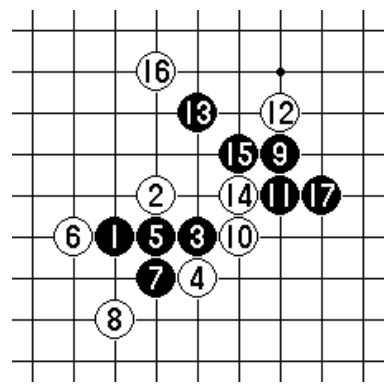
考慮中のタミオラ君



ところで、白10は12と剣先を止めるのも強防である。その時の勝ちにはコンピュータにちよつと頼って何とか出した。



白は盤端の關係で恒星から行く方が強防だが、それでも黒11と叩いておいて良い。白12がこれまた強防だが、黒13と広く打つのが妙手。当然のように白14と割り込んできたら、追い勝ちになるのがミソである。一旦黒21と逆に引くのが白に粘りを与えない打ち方で、以下黒25まで。白18を反対なら、同じように黒19と引く。白14はこちらの方が強防だが、この時は黒15と引いてから黒17に休む。呼手が打てる時は呼手の方が簡単に勝てる場合が多い。特



に盤端が近い時は威力を發揮する。一本引いて休む呼吸をぜひ覚えてもらいたい。冒頭の話に戻るが、どこに行っても日本人観光客を見かける。しかし、たいていはおぼちゃん軍団である。海外に行くこと自体、語学勉強のモチベーションになる。ぜひ若いうちに海外に足を伸ばしてほしい。外国のホテルでテレビを見るだけでも違う。外から日本を眺めてみれば、いかに日本が恵まれているかがわかるだろう。日本の若者よ。どんどん外に出て世界に挑戦しよう!